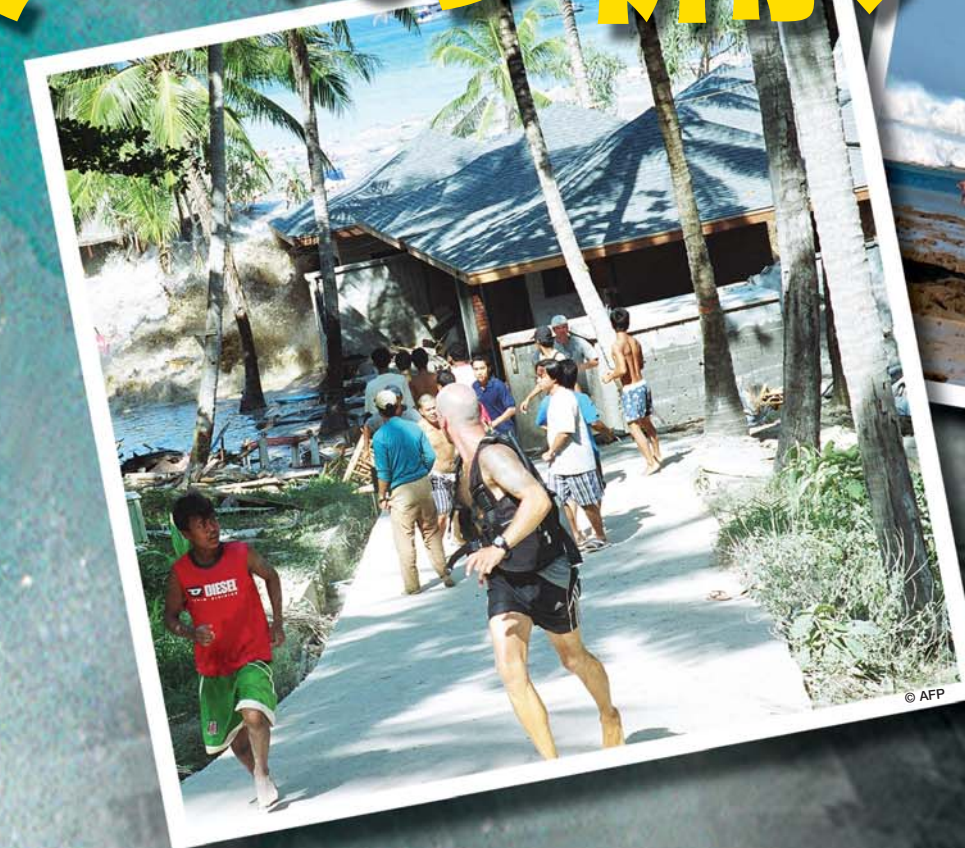
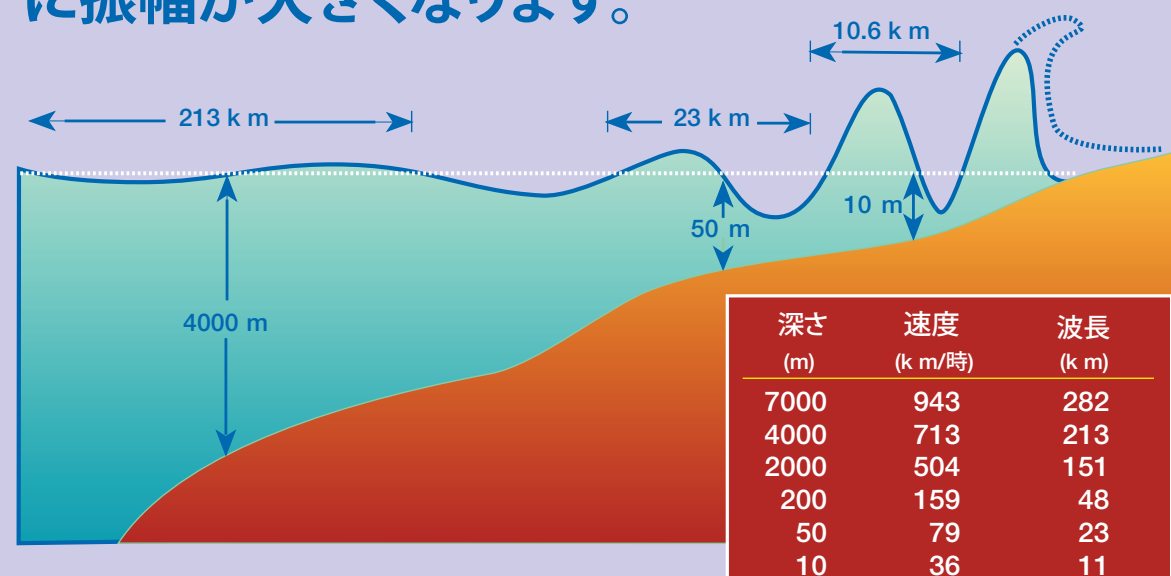


津波への備え

津波が海岸に近づくと速度は遅くなり急激に振幅が大きくなります。

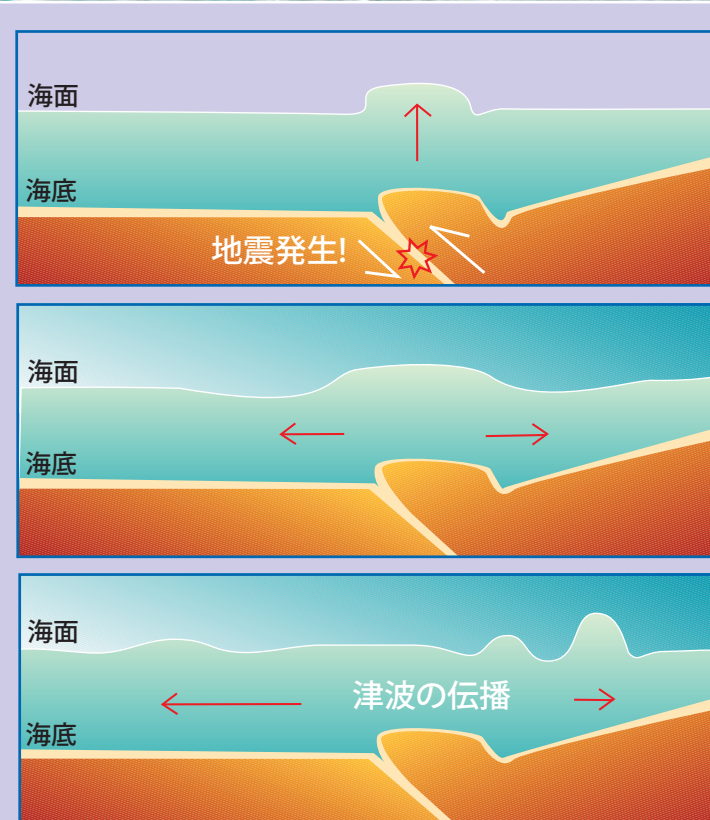


津波は、

- 普通の高波と全く異なります。津波の波長や周期は長く、繰り返し襲ってきます。
- 数時間以上にわたって何回も襲ってきます。第1波が最大の波とは限りません。
- 通常は、大地震による海底の隆起や沈降により発生します。
- 時には海底火山の噴火、海底地滑り、大きな隕石の海中落下で津波が発生することもあります。

津波は、

- 津波は、海の深いところでは、ジェット機なみの速さで進み、その振幅の大きさは数cm程度で、船に乗っていると津波が来たかどうか分かりません。
- ところが海岸の浅い所に近づくと、速度が遅くなると同時に急激に大きな波となります。
- 時には、10m以上の破壊的な波となり、一気に低地にある町や村を襲います。
- 人命や財産の安全確保に大きな脅威となる恐ろしい現象です。



海域の大地震は津波を発生させる



津波の前兆現象は

- 強い地震動は、津波が発生したことの信号です。もし、立っていられないような強い地震を感じたら、津波が発生したと考えましょう。
- 時には、津波は、海水が大きく引き海底が見えることから始まることもあります。
- 列車が遠くからやってくるよううなり音が聞こえる時もあります。

津波から身を守るには

- 強い地震を感じたら、直ちに高い所に避難しましょう。
- 津波は、津波警報が発表されるよりも早く数分以内に襲うこともあります。
- チリの地震で発生した津波が、日本を襲うのは約1日後になります。気象庁から発表される津波情報に注意しましょう。
- 前もって津波警報や津波注意報について正しく理解しておきましょう。
- 河川の近くも津波危険地域です。もし、あなたが津波を見た時は、もう高台に逃げる時間はありません。近くのコンクリート建ての頑丈な建物の高い階に避難してください。さもないと、頑丈な木によじ登りましょう。
- もし津波に流されたらしっかりした浮遊物につかまり、押し寄せてくる危険なガレキから身を守りましょう。